

授業科目	*観光学入門（B クラス）					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	劉 明						
授業概要	観光の歴史や観光産業の構成、特徴および観光産業の定義種類、観光産業におけるホスピタリティ等について論じ、国際観光（インバウンドとアウトバウンド）をはじめ、観光資源（国内と海外）や九州観光の振興についても、具体的な事例をおりこみ、観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛ける。						
授業形態	対面授業			授業方法	Google フォームを利用して理解度を測る		

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 観光学の定義や研究内容を理解することが出来る。 2. 観光産業の定義や構成及び特徴を理解することが出来る。 3. 観光産業におけるホスピタリティを理解することが出来る。 4. 国際観光及び観光資源の知識を身に付けることが出来る。 5. 九州観光振興の課題と解決策を理解することができる。  観光学とホスピタリティの理論及び観光産業と九州観光に関する知識をしっかりと身に付けることができている。
理想的レベル	観光学とホスピタリティの理論及び観光産業と九州観光に関する知識をしっかりと身に付け、観光を見る目、考える力を充分に涵養できている。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物	0	
その他	20%	授業への参加・貢献度です。積極的に質問・提案をしてくれたり、といったことが評価されます。

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	T011101J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

## 学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

復習	4
----	---

## 授業計画

第1回	・ガイダンス シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説明する。
第2回	・観光とは何か ・観光学とは何か
第3回	・観光史（～近現代まで）

第4回	・観光産業の構成・特徴について
第5回	・旅行業について
第6回	・宿泊業について
第7回	・交通運輸業について
第8回	・国際観光1 ・日本におけるインバウンド観光とアウトバウンド観光
第9回	・国際観光2 ・九州におけるインバウンド観光
第10回	・日本の観光資源について
第11回	・海外の観光資源について
第12回	・観光とホスピタリティーについて
第13回	・観光研修について
第14回	・発表 テーマ：観光学入門を受けて
第15回	・総括
テキスト	レジュメを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・岡本伸之編(2001)『観光学入門』有斐閣アルマ ・JTB総合研究所編(2018)第7版『観光学基礎 観光に関する14章』JTB総合研究所 ・劉明 (2017)『地域観光マーケティング戦略構築のあり方－九州のインバウンド観光を事例として』 くんぶる
課題に対するフィードバックの方法	「成績講評」を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	・実際の観光経験はもちろん、さまざまなメディアを通して日頃より観光に触れておくこと。  1. 観光書籍・雑誌・新聞をよく読むこと。 2. 少しでも長く勉強を続けること。 3. よく質問すること。